

7

2026
第91号



ふれあいネットワーク

そよかぜ

森町社会福祉協議会

この広報紙「そよかぜ」は赤い羽根共同募金の助成で発行されています。



「ひとりの不幸も見逃さない社会」をめざして

森町社会福祉協議会 令和7年度 事業報告

令和7年度の森町社会福祉協議会の活動につきましては、町内会や福祉ボランティア団体等への助成事業、共同募金運動については、関係各位のご理解とご協力により計画通りに遂行することができましたので、概略をもって報告いたします。

【地域福祉活動の推進】

1. 地域福祉活動について

地域福祉活動は、地域の福祉活動、小地域ネットワーク活動、コミュニティ活動を含め、町内会の福祉活動を奨励、支援（助成）することで地域の福祉活動の推進を図りました。
（地域福祉活動費として、前年度の社協会費の40％を助成しております。）

【地域福祉情報、相談活動の充実】

1. 社協広報の充実、啓発の拡大

広報「そよかぜ」を年4回発行し、住民への福祉啓蒙、周知に努めました。

2. 心配事相談窓口の常時開設について

社協事務局を常設相談所として開設し、地域においては民生委員や関係機関と連携し相談に対応しております。（取り扱い件数は、愛情銀行・権利擁護・生活困窮関係（フードバンク事業等）など606件）

【自立と社会参加活動の促進】

1. 当事者、家族への支援の促進

高齢者、障がい者、母子寡婦団体の活動を援助し、また、町内会の活発な福祉活動を支援することで、地域福祉の充実に努めました。

2. 青少年の地域福祉への参加、交流活動の促進

ボランティア活動校として、「砂原中学校」の生徒のボランティアへの援助を行いました。
また、ボランティア活動や高齢者とのふれあい活動をしている「森小学校」に助成し、福祉教育活動の奨励・支援を行いました。

【地域福祉を担うマンパワーづくり】

（1）ボランティア活動の活発化を図るため、運営資金の支援を含めボランティアの育成に努めました。

（2）森町ボランティア連絡協議会の育成について

会の事務局を担い、ボランティア組織の育成と団体相互の連携強化に努めました。

（3）ボランティアセンターの推進について

ボランティア活動を推進するための活動拠点として、ボランティアの育成及び連絡調整に努めました。

【地域福祉サービスの拡充】

1. 生活福祉資金の利用

低所得者、障がい者、高齢者などの自立更生のための生活福祉資金制度の利用について、地区民生委員との連携により、制度の効果的な活用と貸付業務の円滑化に努めました。

また、コロナ禍により経済的な影響を受けられた方に対する応急的な生活保障制度として、北海道社会福祉協議会を本部として特例貸付制度の利用者に対する償還事務相談受付業務に努めました。※令和7年度 相談取扱件数89件（うち特例貸付相談 31件）

2. 生活困窮者に対する安心サポート事業の利用

法人の公益的な取組として北海道社会福祉協議会が実施主体となる「生活困窮者等に対する安心サポート事業」に参画し、制度の狭間にある生活困窮者の支援に努めました。

3. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者などの日常生活を支援する「日常生活自立支援事業」について、令和7年度は生活支援員によるサービスが10名の方へ行われました。

4. 生活支援サポーター事業の推進

行政と連携し高齢者に対する生活支援や軽度な介護ボランティアを行う「生活支援サポーター事業」について、令和7年度は、生活支援サポーターによる支援が5名の方へ行われました。

5. 森町社会福祉協議会フードバンク活動の推進

緊急を要する一時的な生活上の困難に直面している世帯に対し、地域において自立した生活が送れるよう総合相談支援及び無償での食材等提供を行う「森町社会福祉協議会フードバンク活動」について、令和7年度は、34件の支援を実施いたしました。

【受託事業】

1. 団体の育成

- ① 森町老人クラブ連合会の育成（事務局）：花壇づくり・グラウンドゴルフ大会・パークゴルフ大会・レクリエーション大会、渡島研修会ほか。
- ② 森町身体障害者福祉協会の育成（事務局）：渡島身障協会福祉大会・会員研修会への参加、少人数による緑の家での販売商品づくりなど。
- ③ 森町手をつなぐ育成会（事務局）：他団体との交流会、文化祭・研修会への参加、月例の自主活動の推進など。

【社会福祉協議会独自事業】

1. 森町交流支援センター：サロン「憩いの森・あつま～れ」の開設

子どもから高齢者まで、気軽に立ち寄れるサロンの運営。生きがい活動の観点から一般町民、福祉団体、各種団体の方々が利用しております。

(令和7年度 来所者数：3,084名)

2. 「ふれあいサロン」と「ミニミニサロン」の推進

地域の高齢者や障がい者の方々が、健康と生きがいづくり、引きこもり・閉じこもり防止等を目的に、気軽に参加できる「ふれあいサロン」を実施いたしました。計12回実施 利用者計 506名

また、地域の高齢者や障がい者の日中活動先としてさくら体操・ふまねっとを実施する「ミニミニサロン」を毎週金曜日開催し、計45回実施し、467名の参加がありました。

3. 灯籠設置事業

全町民を対象とした町内での葬儀の際に設置している灯籠事業は、町内各葬儀社の協力のもと事業が行われました。〈灯籠設置事業協力事業者：(有)伊端造花店・(有)ひらた葬祭社〉

4. 小型除雪機・社協車輛（軽四トラック）・福祉用具等の貸出事業

作業困難な方への除雪ボランティアを実施する際の小型除雪機、町内会・各種団体等での行事等に活用できる軽四トラックの貸出事業を行いました。

※令和7年度利用状況 除雪機（砂原地区 10件・森地区 実績なし）

軽四トラック（23件/延べ51日）

【社協の基盤整備の確立】

1. 福祉事業の推進に関わる財源基盤の確保

(1) 会費及び寄付金について

町内会等の協力のもと住民の社協会費への理解をいただきましたこと、また篤志の町民の方々より賛助会費やご寄付を賜り、社協財源の安定的確保が得られ活動基盤の整備が図られました。

(2) 北海道共同募金会森町共同募金委員会の育成について

『赤い羽根』共同募金事業の趣旨の理解を深め、広く町民の意識の向上と活動の促進を図り、森町共同募金委員会の育成に努め、町内の奉仕委員と事業者の協力で推進することができました。

※令和7年度は、2,649,847円の募金が寄せられ、その配分金は町内福祉団体やボランティア団体、町内会活動へ助成金として交付いたします。

(3) 愛情銀行の運営

愛情銀行は、社協独自の貸付制度です（経済的な理由により支援が必要な方に対し、一時貸付などにより生活の維持を支援する制度）。善意の寄付金を原資とした応急生活資金を貸付する愛情銀行の適正な運営に努めました。

令和7年度 森町社会福祉協議会 資金収支計算書

拠点区分：法人運営

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
事業活動による収支				施設整備等による収支			
収 入	会費収入	6,000,000	5,151,100	収入	施設整備等収入計④	0	0
	寄附金収入	1,339,000	1,361,000	支出	施設整備等支出系⑤	0	0
	経常経費補助金収入	19,697,000	19,697,706	施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤			
	受託金収入	4,685,000	4,685,806	その他の活動による収支			
	貸付事業収入	1,100,000	622,000	収 入	積立資産取崩収入	7,824,870	7,824,870
	受取利息配当金収入	2,000	28,303		その他の活動による収入	1,000	0
	その他の収入	292,000	231,646		その他の活動収入計⑦	7,825,870	7,824,870
	事業活動収入計①	33,115,000	31,777,561	支出	積立資産支出	5,641,352	5,987,352
支 出	人件費支出	27,117,000	25,008,496	その他の活動支出計⑧			
	事業費支出	1,312,000	827,585	その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧			
	事務費支出	5,438,000	5,108,520	予備費⑩			
	貸付事業等支出	1,100,000	463,000	当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩			
	共同募金配分金事業費	5,393,000	4,523,979	前期末支払資金残高⑫			
	助成金支出	80,000	80,000	当期末支払資金残高⑪+⑫			
	負担金支出	290,000	280,462				
	事業活動支出計②	40,730,000	36,292,042				
事業活動資金収支差額③=①-②		△7,615,000	△4,514,481				

令和7年度 社協会員会費 ありがとうございました

《一般会費》

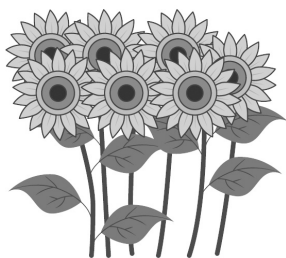
令和7年度の社協一般会費の納入につきまして、各町内会よりご協力を頂きました。日頃よりのご協力、ご支援、誠にありがとうございました（順不同・敬称略）

赤井川町内会	石倉東部町内会
駒ヶ岳町内会	石倉中部町内会
尾白内町内会	石倉西部町内会
白川町内会	濁川町内会
港町町内会	二ツ山町内会
東森町内会	沼尻町内会
新川町内会	彦潤第一町内会
常盤町内会	彦潤第二町内会
姫川町内会	彦潤第三町内会
森川町内会	会所町第一町内会
御幸清澄町内会	会所町第二町内会
本町東部町内会	四軒町町内会
本町西部町内会	砂原二丁目町内会
上台町内会	砂原中央町内会
鳥崎町内会	度杭崎第一町内会
富士見町内会	さわか町内会
鷺ノ木町内会	場中第一町内会
蛭谷町内会	場中第二町内会
本茅部町内会	

《賛助会費》

賛助会員として、篤志家・企業等から年額10千円以上のご協力をいただきました。※広報掲載の承諾をいただいた方のみ氏名掲載させて頂いております。（順不同・敬称略）

赤井川	伊藤 秀信	佐藤 滝夫	山崎 真護	阿部 邦夫
(有)レストランケルン	森 堯憲	森漁業協同組合	山崎 尚子	阿部 勝子
小泉 貢一	レストラン山陽	渡島冷蔵(株)	金見 ユキ子	阿部 一郎
志賀 弘規	真鍋 寿夫	(株)ジウヤマイチ佐藤	長谷川 伸雄	山崎 節子
藤田 実美	新川 政衛	吉田 美加子	小島 優子	松田 康生
寺澤 敏夫	澤口 英司	新川町	中澤 克宣	本町
中川 恵子	長谷川 勇	石川 雅子	鈴木 孝司	深川 節雄
(有)赤石配管設備	山上 ミツエ	白石 秀雄	福島 美智子	成田 富子
黒滝 不動産	佐々木 修	飯田 加代子	中村 妃都美	渡辺 恵子
高原 食堂	石垣 順子	山本 澄子	大竹 紀子	加藤 菊子
東日本産業(株)	佐藤 豊子	森川町	梶谷 和子	松浦 義正
		飯田 加代子	桶谷 路子	小杉 久美子
		常盤町	常盤 俊美子	佐藤 善高子
		鶴尾 ひとみ	山田 紀子	佐藤 芳枝
		金丸 由起子	住吉 隆子	住吉 英勝子
		高田 洋子		山本 澄子



砂原西1丁目	三浦 千枝
砂原西3丁目	森 健一郎
砂原西4丁目	磯 邊 吉隆
砂原1丁目	佐々木 裕
砂原2丁目	東和測量設計事務所
砂原4丁目	工藤 良則
砂原5丁目	上村 素子
	カネヤマ松浦水産



森町共同募金委員会 ご当地ピンバッジ第13弾が決定!!

2026年森町共同募金委員会ご当地ピンバッジは、「岩谷 寧々香 さん（森小）」のデザインに決定いたしました。おめでとうございます！以下に、入賞者（応募当時の所属校）をご紹介します。

最優秀賞 岩谷 寧々香 さん（森小）

優秀賞 清水 星空 さん（さわら小）
上平 千桜希 さん（鷲ノ木小）
新谷 詩 さん（こひつじ保育園）
特別賞 星 妃鞠 さん（森小）
今井 悠月 さん（森小）
平田 乃愛 さん（さわら小）
木村 咲穂 さん（さわら小）
吉田 心来望 さん（こひつじ保育園）

2026年ピンバッジ コンテスト♪



イメージキャラクター
「こまちゃん」

【お詫びと訂正】

そよかぜ5月号の「さわら小学校学校募金」の記事に掲載した写真に誤りがありました。

関係者の皆さまにお詫び申し上げますとともに、正しい写真を掲載いたします。



【さわら小学校 学校募金写真】

赤井川GRC部お花見会

赤井川町内会のGRC部（老人クラブ）では、5月25日、お花見会を開催し、レクリエーションやグラウンドゴルフ、バーベキューを行い、大いに盛り上がりしました。



森町老人クラブ連合会

森町老人クラブ連合会では、交通事故死ゼロを願い、サン・ビレッジ森前の花壇に「ひまわりの種」を植えました。この活動は、交通安全と命の大切さを伝える「ひまわりの絆プロジェクト」の一環です。同会は本年度からプロジェクトに賛同し、地域の交通安全意識の向上に取り組んでいます。

大きく育つひまわりとともに、交通安全の輪が地域に広がることを願っています。



地域福祉活動の紹介

～小地域ネットワーク&各団体活動～

【鳥崎町内会】

▶5月27日、49名の方へ、お赤飯とおかず、フルーツの詰合せをお届けしました。



【駒ヶ岳町内会】

▶5月18日、40名の方に、ちらし寿司にお手紙を添えて、安否確認をいたしました。



▶6月14日、41名の方に、いなり寿司とカップみそ汁にお手紙を添えて、安否確認をいたしました。



上台町内会】

▶6月14日、56名の方へ、炊き込みご飯をお届けしました。



常盤町ときわ会 白寿のお祝い

4月11日、常盤町ときわ会において、梶谷和子会長の白寿のお祝いを行いました。会員と地区担当民生委員も参加し、会員からのプレゼントの衣装と花束で身を包む、温かいお祝いの席となりました。



森川町内会】

▶6月13日、110名の方に、ちらし寿司とお茶をお届けしました。



地域福祉活動の紹介 ～ボランティア活動～

ane 妻サークル

6月1日、上台町You愛クラブ研修会で、「ane妻サークル」代表である成田防災士と藤田氏が「災害時の備え ローリングストック」をテーマに講話を行いました。参加者は日頃からの備えの大切さを学び、防災意識を高めました。



森町日赤奉仕団

5月30日、さくらの園の花壇への花植えと周辺の清掃活動を行いました。ベゴニアやマリーゴールド、サルビアなど540株の花を植え、花壇が色鮮やかに生まれ変わりました。入所されている皆さまの心を和ませる憩いの場となることを願っています。



経済的な理由で生活に困っている方へ、自立に向けた相談を行い食料品等を提供します。

フードバンク活動事業を実施しています

森町社会福祉協議会では、生活困窮者等に対する「フードバンク活動事業」による支援に取り組んでいます。

◆ 事業の内容

フードバンク活動は、経済的な理由で一時的に生活が困窮した世帯に、自立した生活が送れるよう相談による支援を行い、食料品等を無償で提供する事により地域における困りごとを地域全体で支え合う活動です。

また、利用されていない食料品等の寄付をお願いして事業を運営しますので「食品ロス」を減らし、資源の有効活用にもつながります。

（消費期限が近付いた食料品等は、町内の福祉関係事業所等に提供する場合があります。）

◇令和8年4月1日から6月10日現在のフードバンク事業へ寄付受付の状況

◇フードバンク事業 利用者の状況（令和8年4～5月） 1件

寄 付 者	種 類 / 食 料 品 等
匿名 様（個人）	現 金 3 件
計 3 件	

灯籠事業

町民の方がお亡くなりになった際に、町内の葬儀社（２社）のご厚意により社協の灯籠を供えさせていただいております。※地域福祉の推進は、住民参加が基本と考えられることから、現在社協では住民会員制を設け活動へのご協力をいただいております。このことから会員の方が亡くなられた際にはご冥福をお祈りし、各葬儀社さまのご協力のもと灯籠事業を実施しています。

【灯籠事業協賛葬儀社】

- ・(有)伊端造花店（2-2374）
- ・(有)ひらた葬祭社（8-2047）



善意のご寄付 ありがとうございます

※令和8年6月10日までを掲載しています。

- 匿名 様
- ・現金（フードバンク活動へ3回）
15,000円

俳句「茅部栗吟社」

福祉用具無料貸出のご案内

社会福祉協議会で保有する車いす・レクリエーション用具、プロジェクター、軽トラなど無料貸出しております。町内会行事やサークル活動にご利用ください。

その他、いろいろありますのでお問い合わせください。社協職員が指導いたします。



※興味のある方は、一緒に俳句を楽しみませんか。
お問い合わせは 2ー5848 金谷
2ー4707 葛西まで

雨上がり 遠き峯々 緑濃く

金谷 光則

遥かなる 峯の囁き 若葉風

伊藤 喜美

車両貸出事業の貸出について

社会福祉協議会では、通年『車両貸出事業』として、町内会・ボランティア団体等の各種行事・事業等に無料で貸出します。なお、燃料は実費負担といたします。詳しいことは、森町社会福祉協議会へお問い合わせください。（☎3-2280）



【編集・発行】社会福祉法人 森町社会福祉協議会

〒049-2326 茅部郡森町字御幸町3-2

電話：01374-3-2280 FAX：01374-3-2281

【印刷】株式会社 P&S いわた

〒049-2313 茅部郡森町字森川町182

電話：01374-2-2355 FAX：01374-2-6344

心配ごと相談所

日常生活の悩みや心配ごとについて相談員が応じ助言いたします。相談内容によっては専門機関へのご紹介もいたしますので、お気軽にご相談ください。